



はくい (HAKUI)

平成28年10月号(2016)

市議会だより

No.71

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

発行者／石川県羽咋市議会
編集者／市議会だより編集委員会
住所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地
TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210
<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

- 一般質問…………… 2
- 各委員会報告…………… 7
- 市民の声…………… 10



羽咋神社 船渡神事

平成28年第5回定例会の概要

平成28年度第5回羽咋市議会定例会が8月29日から9月13日までの16日間開催された。提出された議案は、平成28年度羽咋市一般会計予算案など議案5件、その他1件、報告2件、認定7件。

初日の提案理由の説明で山辺市長は、羽咋創生の進捗状況、6次産業化を目指す自然栽培の取り組み、観光交流拠点施設・道の駅のと千里浜の整備状況、移住・定住の促進などについて説明した。

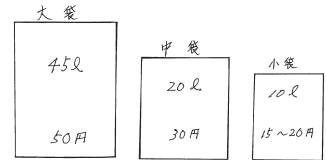
9月6日の質問日では、10人の議員が質問に立ち、道の駅、まちなか再生、国保税、農業の6次産業化などについて質問した。

最終日の採決では、平成28年度一般会計補正予算など議案6件、報告1件を原案のとおり可決・承認した。また、認定7件については継続審査となっている。



新田 義昭 議員

市民に感謝・指定ごみ袋の改定を



指定ごみ袋の改定 (私案)

指定ごみ袋の改定を問う

【質問】 羽咋市・宝達志水町・志賀町の内、羽咋市が一番ごみの処理費用が少ない。原因は、ごみ袋の値段が高い。若者の定住促進、県内・国内からの交流人口の拡大、若者の定住を進めている。ごみ袋の単価が高いということは、羽咋市へ入ってくる若者が少ないと私は思う。45ℓの大袋を10円下げて欲しい。新たに、小袋10ℓを作って欲しい。

【答弁】 ごみの減量化については、ごみは毎年減少しており、市民の皆様のご協力に改めて深く感謝する。少量ごみ袋の導入については検討する。また、価格の引き下げについては、前向きに検討する。

道の駅を問う

【質問】 全国的に見ると、道の駅の一部に観光の発信を行なっているケースが多い。市役所内にある羽咋市観光協会を来年7月にオープンする「道の駅のと千里浜」に移転するのかを尋ねる。

【答弁】 道の駅を本市の玄関口として、観光情報の発信拠点として捉えている。羽咋市観光協会に、道の駅への移転について協議したが、現状の人員体制や業務状況から判断すると、移転は難しい。本市の観光振興が図られるよう、協会とは課題を共有しつつ、今後も道の駅の営業状況を見ながら継続的に協議をする。



山本 泰夫 議員

羽咋駅周辺の空き家対策と「まちなか再生」



廃墟のトーカマート

JR羽咋駅周辺整備計画

【質問】 駅のトイレ改修、バス停のアーケード等が予算化されているが、空き家対策、「まちなか再生」の計画がなされていない。駅前から市役所までは賑わいがあった通りであったが、空き家や店舗のシャッターが閉められ、トーカマートは廃墟となり夜になれば真っ暗な市街地である。①空き家対策と「まちなか再生」のための考え方。②トーカマート跡地の対策。③長者川改修の計画。④都市計画道路川原線の見通しは。

【答弁】 ①空き家の購入、リフォームの助成、起業家支援、事業継承者支援等を行い空き家、空き店舗の解消に努める。②民間主体による活用を促し、国の支援対策を検討。③河川の蛇行する部分の抜本的な改修、堤防のかさ上げ、脆弱な護岸改

修等を要望。④地元や関係者の理解や強い熱意が不可欠であり、財政状況を踏まえ検討する。

企業誘致の効果

【質問】 助成金の総額と税の減免額は。助成金等は何年程度で市へ還元されるのか。雇用形態はどのようなになっているのか。①正規雇用。②非正規雇用。③羽咋市民の雇用数。

【答弁】 助成金総額は4億5000万円、税の減免額は約1億円。5～6年程度で還元予定。雇用者総数143人。①正規雇用127人。②パート雇用16人。③羽咋市民の雇用は37人である。

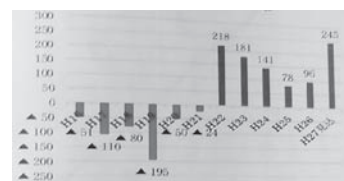
その他の質問

子育て支援の効果について



塩谷 久司 議員

財政運営の大幅改善を どう反映させるのか



実質単年度収支の推移グラフ

財政再建、再生から創生への成果を高く評価

【質問】 平成27年度一般会計決算の財政運営の健全性を図る経常収支比率は、一般的に80%位が適正で、一時期100%を超え、長い期間90%後半に低迷するも20年ぶりに大きく改善。その要因と努力は何か。また、県内自治体での位置付けは。**【答弁】** 経常収支比率は89.3%となり、前年度比大幅な改善をした。90%を下回るのは平成7年度以来である。主な要因は市民の協力でごみ収集の有料化や人件費削減、借金の繰上げ返済等による行財政改革である。県内自治体の位置付けは未公表であるが、11市中3番目で下位から上位となる可能性がある。

黒字への再建は何もしなかったからか

【質問】 赤字から黒字への財政再建は事業をしなかったから改善されたのか。また、国は今年度から予算の積上げから自治体の自主的・主体的で先導的な取組みに支援する交付金に改めた。地方創生交付金の獲得は連携と総力戦の時代ではないか。**【答弁】** 実施事業は羽咋中学校整備事業や防災無線整備事業など18事業で約100億円。国、県との強力な連携で職員一人一人の英知と努力で積極的に補助金事業の獲得に努め、有利な起債で財源を有効活用した結果である。地方創生交付金は、道の駅や自然栽培の6次産業化等、先駆的事业を果敢にスピード感をもって挑戦した結果、2億5千5百万円を獲得した。



北川 真知子 議員

高い国保税の引き下げを！



公立羽咋病院

国保税の引き下げを

【質問】 国保加入者の低所得化が進み、国保財政が危機的状態にあることを重く見た国は、自治体に財政支援をした。その結果、市は2015年度6,667万9,000円、今年度は5,415万3,000円の国保支援金と普通交付税の増額分を国保財政に繰り入れている。それを、高い国保税の引き下げに回すよう求める。

また、2018年度に国保の運営主体が県に一本化されることに向けて、市は2017年度からの国保税の税率改正を検討するとのことであるが、国保税をいくら引き上げようとするのか。

【答弁】 国保は毎年基金を取り崩す厳しい財政運営を強いられており、国保税の引き下げは困難である。

また、2017年度分の国保税については、県が今年中に示す納付金や標準保険料率の試算を参考

に税率改正を検討していく。

子どもの貧困実態の調査と対策を

【質問】 子どもの貧困率は6人に1人、母子世帯などの貧困率は2人に1人である。国は、地方自治体が子どもの貧困対策について検討の場を設けることなどの指針を出している。子どもの貧困実態を調査し、具体的対策を講じる考えはないか。

【答弁】 今年度から新たに生活困窮家庭及びひとり親家庭の中学3年生を対象とした学習支援事業を実施している。実態調査については、国の動向を注視する。

その他の質問

- ①介護保険制度について
- ②道路整備について
- ③志賀原発について



松永 幸則 議員

県や国とのパイプ無くして 事業は成し得ない



整備された滝地区のほ場

アンテナショップのレベルアップを

【質問】 アンテナショップ「能登みらい農業はくい放送局」を早急にレベルアップ、ブラッシュアップする必要がある。予算措置は可能か。

【答弁】 流通関係者向けのミニイベントや常設展示、試食コーナーなどは、機能性や安全性をアピールする有効な手段である。予算については、はくい式自然栽培の知名度向上に係る情報発信の事業として、地方創生交付金を活用し実施できないか検討する。

山辺市長は国や県とのパイプがあるのか

【質問】 市長は国や県とのパイプがあるのか。スピード感を持って仕事をされてきたのか。

【答弁】 羽咋中整備事業や防災行政無線整備事業、すこやかセンター耐震化等、18事業に約100億円を投資したが、実質的な負担は約24億円である。道の駅も国交省の重点道の駅に選定されたが、これは国や県との強力な連携の賜物である。県が耕作放棄地再生のモデルと位置付けた太陽光発電と営農支援を組み合わせた滝地区の事業は、全国初の取り組みであり、日頃の県や国との連携が実を結んだ結果である。スピード感については、平成24年度に県内の自治体で初めて導入したMCA方式によるデジタル防災行政無線や、平成27年度に開始した空き家リフォーム再生事業は近隣自治体にも広がりを見せており、他に先駆けてスピード感を持って各種事業に取り組んできた結果である。



浜名 等 議員

この冬の除雪対策は 進んでいるか？



北大通り線に融雪装置を

羽咋病院対岸の北大通り線に融雪装置を

【質問】 市道221号線、通称北大通り線は、融雪の効いた国道と県道を結ぶ市道であり、羽咋病院へ向かう緊急車両や通院する患者にとっては、大変重要な道路になっている。この市道に大雪の際に効果がある融雪装置の設置はできないか、市長の考えを聞く。

【答弁】 議員指摘の路線は、重要な路線と認識しており、優先順位の高い第1種路線と位置付け優先的な除雪に努めている。融雪装置の設置は、整備や維持管理に多額の費用を要することから、交通量や除雪体制等を総合的に判断し、検討していく。

羽咋駅周辺整備について

【質問】 羽咋駅前を通る県道若部千里浜インター線は、紺屋橋から長者川の左岸沿いを延伸し、八幡橋まで行くことになっているが、現在は中止となっている。どのような理由で中止になっているのか、市長の考えを聞く。

【答弁】 当該路線は、長者川の左岸沿いに計画する都市計画道路川原町線と位置付けている。市街地での道路整備は、周辺の有効な土地利用など地域の活性化につながり、さまざまな取り組みと一体的に行う必要がある。地域住民や商業関係者のご理解や強い熱意などが不可欠であり、地元の意向や本市の財政状況などを考慮し、検討していく。



櫻井 英一 議員

農業の6次産業化や まちなか再生の取り組み



今後整備される邑知の郷公園

邑知の郷公園の整備

【質問】 農業の6次産業化と「道の駅のと千里浜」への自然栽培農産物の安定供給につなげる一連の事業拠点として、邑知の郷公園を農業振興ゾーン、若者住宅ゾーン、市民の憩いゾーン、企業誘致ゾーンの4区画からなる振興ゾーンとして整備を進めるとのこと。計画の具体的内容を聞く。

【答弁】 農業振興ゾーンは、自然栽培や特産物など本市の特長を生かした農業の拠点として整備する。若者住宅ゾーンは、若者の定住に向け安価な住宅地として造成を図る。市民の憩いゾーンは、グランドゴルフ場や遊具など市民のふれあいの場として活用する。企業誘致ゾーンは、のと里山海道や159号バイパス予定地に近いという有利な立地条件を生かし、企業の誘致を進める。

羽咋駅周辺の整備

【質問】 JR羽咋駅を起点とする中心市街地は、第5次羽咋市総合計画で「羽咋市の『顔』となる拠点」と位置付けられ、市民生活の拠点区域となっている。羽咋駅周辺整備の状況を聞く。

【答弁】 平成27年度までに、駅東側で利用者の利便性の改善や住環境の向上が図られるよう、駅東口広場や周辺道路の整備を実施した。今年度は、交流人口の拡大やにぎわいづくりにつながるよう、駅西側の整備として歩車道や広場などの舗装整備及びトイレやアーケードの改修を予定している。

その他の質問

若者の定住と出生率の向上について



寺井 哲也 議員

スピード感のある事業を



国道159号羽咋道路工事状況

交通網は血管と同じ、流れが大切

【質問】 国道159号羽咋道路が構想から50年過ぎた。金沢、七尾間の真ん中の羽咋だけができていない。過去5年間の工事の進捗状況と年毎の事業費はどのようになっているのか。

【答弁】 過去5年間の事業費は、平成24年度は3億円、平成25年度は1億2,000万円、平成26年度は1億2,000万円、平成27年度は1億9,000万円、平成28年度は2億5,000万円であり、5年間の総事業費は9億8,000万円となっている。工事の進捗状況については、平成27年度から酒井町地内で工事に着工しており、今年度も引き続き酒井町及び四柳町地内において盛り土工事等が進められる。

【質問】 この事業の国からの予算が大変少ない。七尾や輪島の方には何十億規模の予算が行っている。国道159号羽咋道路の羽咋地内の完成予定についてはいつ頃か。

【答弁】 完成予定については、国土交通省は工事予定及び完成予定を示していないが、今後とも関係自治体をはじめ市議会や商工会の協力を得ながら整備促進に全力で取り組んでいきたい。

その他の質問

- ①スピード感のある取り組みの認識について
- ②教育問題について
- ③市職員の定数について
- ④市職員の健康管理について



浅野 俊二 議員

今までの実績と今後の政策が問われる



営業利益が大幅増加したちりはまホテルゆ華

ホテル「ゆ華」の経営は赤字か黒字か

【質問】 ホテル「ゆ華」購入の際、賛否両論があったが、私は30数名の雇用や今後の千里浜開発の重要な場所であり、強く購入を訴えた。市長の決断は正しかったと思う。現在予約を取れない日もあると聞くが、経営状況や今後の施設整備をどのように考えるのか。

【答弁】 平成27年度決算では売上額は1億4千万円から2億1千万円で、前年度比39.4%の大幅増加。営業利益も200万円から2400万円に増加し、市へ1200万円を納入している。4月から8月の累計で宿泊人数は5,655人で、前年度比8.4%の増加。売上額は約1億円で、前年度比10.1%の増加だ。20年経過した施設であり、今後設備の更新や本体の改修も必要である。海外誘客の推進など新たな魅力づくりについて指定管理者と協議する。

第5次総合計画について

【質問】 第5次総合計画は、将来の10年の総合計

画であり、羽咋はどうするかという極めて重要な計画である。市長の見解を求め、市長の決意も改めて問いたい。

【答弁】 地域資源を活用した雇用の創出を始め、地域の魅力を生かした移住定住の促進、高齢化社会に対応する地域包括ケアシステムの構築、地域の宝である文化財の価値に光を当て、市民の理解を深めることなどを重要施策に掲げ、進めている。地方創生の厳しい都市間競争に勝ち抜いていくためにも、挑戦を恐れずこれらの重要施策を強力に推し進め、新しい羽咋市の未来づくりに邁進する所存である。今後も引き続き新しい羽咋市の未来づくりのため、第5次総合計画の総仕上げと第6次総合計画の策定に全身全霊をかけて精進していく。

その他の質問

- ①政治活動について
- ②羽咋市長選挙について市長の決意を問う



稲村 信成 議員

過度な職員削減が市民サービスの低下に！



市役所二階フロア

特に市庁舎二階の業務が過重では

【質問】 新規事業や会議等に追われ、現場で市民との打合せ時間が取れない。市民サービスができていない。特に庁舎二階の業務では、過労による休職者もいると聞く。単年度黒字化への過剰な人件費削減ではないか。職員削減と業務・労務管理の改善状況を問う。

【答弁】 職員数は211人(市長就任時)から51人減。28年4月1日160人体制になっている。職員定員適正化計画で進めている。全職員の平均では、時間外は月6時間。休日勤務は月約9時間。業務多忙な時は部署を超えて協力している。

東京の羽咋アンテナショップの活用

【質問】 東京杉並区のアテナショップは自然栽培品等の特産物PRの店だが、管理・運営がずさんで、野菜・果物の一部が処分されていると聞く。「陳列・店の対応共に魅力が無い」との感想も聞く。店舗開設以来の販売額、出店総費用額と今後の見直し予定を問う。

【答弁】 今年3月～7月の総売上174万円、出店総費用は1,055万円。委託会社と5年契約(国の補助)、運営や情報収集を活発に行う。

その他の質問

- ちりはまホテルゆ華の経営について

総務民生常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○浜名 等 松永 幸則 大塚 幸男
新田 義昭 中村 孝清 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第41号「平成28年度羽咋市一般会計補正予算第3号」中、当委員会所管分など議案3件、報告1件。9月7日に委員会を開催し審査した。

その結果、議案3件及び報告1件については、全会一致で原案のとおり可決・承認した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 保育所等におけるICT化推進事業について、タブレット等の導入時期は。また、その用途は何か。

【答弁】 導入については予算を成立した後、今年度中に実施したい。また、用途については各保育所等で選択するものであるが、例えばカメラで子供の登園をチェックしたり、保育士指導計画を作成しシステムに反映したりする。主に、保育士の業務の負担軽減が最大の目的である。

【質問】 障害者地域生活支援事業について、障害者の相談が増加していることから、専門相談員を外部に委託するとのことだが、内容を説明してほしい。

【答弁】 現在、市役所で障害者から相談を受けた場合、障害者施設の専門相談員に問い合わせ対応している。専門相談員を施設から市に派遣してもらうことでスムーズな対応が可能となり、円滑にサービスプランなどを立てることができる。

【質問】 介護予防拠点整備の補助金の内容は。

【答弁】 会館等を利用して、週1回以上事業を実施する場合に、改修費の2分の1、上限50万円を補助する。

その他、認知症カフェのトレーニング内容について。付託案件以外では、財政調整基金の積み立て額について、第二子保育料無料化の対象者についての質疑・質問がされた。

産業文教常任委員会報告

◎寺井 哲也 ○高田 甚哉 北川 真知子
稲村 信成 塩谷 久司 中村 重幸 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第41号「平成28年度羽咋市一般会計補正予算第3号」中、当委員会所管分など議案4件。9月8日に委員会を開催し審査した。

その結果、議案4件については、全会一致で原案のとおり、可決・承認した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 「道の駅のと千里浜」の指定管理者である「羽咋まちづくり株式会社」への出資金について、羽咋市や企業等からの出資だけでなく、一般の人からも出資を募ってはどうか。

【答弁】 「道の駅のと千里浜」の経営状況等を考慮しながら検討していきたい。

【質問】 「道の駅のと千里浜」について、正規社員5人、パート18人を予定しているが、冬期間等のオフシーズンも同様の人員体制を考えているのか。

【答弁】 パートの18人については、年間を通しての平均人数である。また、夏場の繁忙期には臨時のアルバイトの雇用も想定しているが、営業状況によって対応したい。

【質問】 「道の駅のと千里浜」の冬期間の運営について、姉妹都市の群馬県藤岡市の道の駅では、イルミネーションを活用しイベント等を実施して好評を得ているので、参考にしてほしい。

【答弁】 現在、指定管理者である「羽咋まちづくり株式会社」において、色々と検討中であり参考にしたい。

その他、中学校部活動の北信越大会、全国大会出場に伴う補助金について、ちびっこ自然センターの遊具の更新について。付託案件以外では、邑知の郷公園に進出予定の企業及び公園の利用形態の見直しについて、災害時の避難情報について、企業進出に伴う羽咋市民の雇用状況について質疑・質問がされた。

平成28年 第5回定例会 9月議会

◇平成28年度の一般会計補正予算をはじめ全議案を可決

平成28年度一般会計補正予算など議案6件、認定7件、報告1件を原案のとおり可決・承認・継続審査とした。

■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
市長提出 議案第41号	平成28年度羽咋市一般会計補正予算（第3号）	可 決
市長提出 議案第42号	平成28年度羽咋市国民健康保険保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出 議案第43号	平成28年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出 議案第44号	平成28年度羽咋市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出 議案第45号	平成28年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出 議案第46号	千里浜観光交流拠点施設の指定管理者の指定について	可 決
市長提出 認定第1号	平成27年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出 認定第2号	平成27年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出 認定第3号	平成27年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出 認定第4号	平成27年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出 認定第5号	平成27年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長提出 認定第6号	平成27年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	継続審査
市長提出 認定第7号	平成27年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	継続審査
市長提出 報告第17号	羽咋市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認

“道の駅のと千里浜” 新築工事起工式に出席

9月13日、来年7月にオープンを予定している“道の駅のと千里浜”の地鎮祭と起工式が千里浜町の建設地で執り行われ、議員一同を含む関係者約60人が出席し、竣工の無事を祈った。

起工式で山辺市長は、「情報の発信、災害時の防災拠点としてのほか、地域の憩いの場として広く市民や来客者に親しまれる施設として整備していきたい。自然栽培農産物の生産・加工・販売・流通を循環させた6次産業の振興により、農村再生、雇用創出による若者定住や地域経済の活性化を担う地域の交流施設として、観光誘客の促進にも期待している」と挨拶した。

大塚幸男議長は、「千里浜IC周辺は市の玄関口であり、市内の観光地との密接な連携が必要になってくる。のと里山海道の無料化など、フォローの風が吹いている間に魅力ある施設として完成させ、たくさんの人に訪れてもらいたい」と祝辞を述べた。

世界最大のクチコミサイト“トリップアドバイザー”で日本一に選ばれた千里浜なぎさドライブウェイのすぐ近くに建設される“道の駅のと千里浜”は、自然栽培の農産物や加工品を核として、さまざまな羽咋の名産品が並ぶ予定である。

農家や加工業者などの生産者、流通や資材など関連する企業、働く人達の雇用、そして訪れる多くの観光客の方々など、さまざまな波及効果が期待されている。



●●● 市民の声 ●●●

能登と加賀の格差是正を

E.H 羽咋地区・女性・60代

北陸新幹線が開通してから、1年を迎えました。今年度に入り、金沢、輪島の観光地は、新幹線効果の賑わいが報じられています。羽咋からでも、東京の滞在時間が長くなり、有効に時間を使うことができるようになりました。

昨年、定時のダイヤ改正は、新幹線開通と重なりました。「えっ！やっぱり」。新幹線の最終と七尾線の接続の最終便が、高松止まりなのです。なぜ、高松止まりなのですか。あと5駅目で羽咋駅なのに、がっかりしました。ダイヤ改正で羽咋駅が切り捨てられた気になりました。

羽咋の力で高松止まりでなく、羽咋止まりにできなかったものか、とても残念でした。これって能登と加賀の格差。

今後も、議員各位におかれては、能登と加賀の格差是正にさらに奔走していただきたいものです。

介護保険制度の変更内容を早期に検討・周知を！

T.I 羽咋地区・男性・70代

介護保険制度の改正に伴い、比較的に軽度の「要介護1」と「要介護2」の対象者は、現在の介護制度の利用が国から地方の自治体に移行されると聞いています。

現在は各専門施設のデイサービス等を専門介護士等で行われていますが、自治体に移行された場合には、各地域の町内会等で実施されることが検討されています。具体的な内容が見えていません。対象者及びその家族や地域の町会組織の戸惑いは大きいものがあります。

市議会議員各位には、この介護保険制度の改正内容を早期に具体的に検討していただき、早く周知して頂くよう、積極的な発言をお願い致します。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は12月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成28年9月議会の会議録は、12月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

先日、新保町の秋祭りを見に行きました。女の子が舞っているので、町会の役員に話を聞くと、少子化のため今年からは女の子も練習をし、獅子舞を始めていると聞きました。

今、市内の各地域では少子化が進んでおり、従来行われてきた活動が難しくなっています。今後は、これまでの慣習にとらわれず、女性の参加を促し、地域住民が支え合う地域づくりが重要だと考えます。

私たち議員も、時代の流れを敏感に受け止め、羽咋の良さを次世代へ繋げていくために、より一層活発な議会活動を重ねて行きたいと思えます。（浜名 等）

市議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	松永 幸則
副委員長	浜名 等
委員	北川真知子
	寺井 哲也
	櫻井 英一